

共に生きるを楽しむために

思いやりの言葉

「やさしい日本語」を学ぼう!!

【問い合わせ】

まちづくり推進課 ☎942・1165

市

内に住む外国籍市民は年々増えていて、平成27年から5年間の伸びが目覚ましく、およそ2倍に急増しました。令和4年10月末現在で984人と最多を更新しました。一方、言葉や文化、風習などの違いでお互いの理解が深まらず、偏見や誤解などが招くトラブルがなくならないのが現状です。

中でも「ことばの壁」は高く、外国籍の人が日本語で自分の想いを伝えられず、もどかしく思ったり、必要な情報を得られずに困ったりすることがあります。

市内で暮らす外国籍市民のおよそ9割がアジア圏の人たちです。そのため、必ずしも「英語」が有用

とは限らず、むしろ外国籍の人とのコミュニケーションは、分かりやすく言い換え、相手に配慮した「やさしい日本語」が伝わりやすいことが、さまざまな調査からも分かっています。

国籍に関わらず、誰もが安心して自分らしく暮らせるように、多文化共生を推進していくことがたいせつです。

今回、多文化ソーシャルワーカーの矢野花織さんを講師に迎え、思いやりの言葉「やさしい日本語」を知り、使えるように、みんなで学べる講習会を開催します。

今回、多文化ソーシャルワーカーの矢野花織さんを講師に迎え、思いやりの言葉「やさしい日本語」を知り、使えるように、みんなで学べる講習会を開催します。



「つながる！多文化ミニ運動会」の様子

1/22(日)

入場無料・要申込

【場所】リーパス交流館103

13時30分～15時30分(13時受付)

定員 25人(抽選)

申込方法 電子申請

講師 矢野 花織さん

北九州国際交流協会センター長
(一財)自治体国際化協会(CLAIR)
地域国際化推進アドバイザー

申込期間 12月20日(火)～1月20日(金)

※新型コロナの影響で、オンライン(ZOOM)講演会になる可能性があります。

*「やさしい日本語」って？

子どもから日本語を自然に使っていない人にも分かるよう、簡単な言葉に言い換えて話す(書く)思いやりの日本語です。



▲申込はこちらから



矢野 花織さん Yano Kaori

*日本語教育や外国人相談に携わる中で、外国人市民が社会の一員として暮らすためには、日本語教室や外国人相談窓口での支援を充実するだけでなく、同時に社会が変わっていく必要性を感じ、社会福祉士を取得するなど、多方面で活躍。

「やさしい日本語」で話そう*古賀寛成館高等学校の生徒さんとコラボした、「やさしい日本語」の缶バッジやチラシは令和3年度に作成しました。市の行事などたくさんの場面で啓発に活用しています。

